JHU NEWS No.111 2023.12.27

ＪＡＬ被解雇者労働組合（JAL 争議団）

info@jhu-wing.main.jp https://jhu-wing.main.jp/

12･22 JAL 本社大包囲行動

主催：JAL 争議の早期全面解決をめざす実行委員会

寒風吹きすさぶ 12 月 22 日、JAL 本社大包囲行動に、これまでの参加者を大幅に上回る方々が結集して下さり、天王洲が熱気に包まれました。13 年の争議を解決したいという参加者の声は会社に届いたでしょうか。行動開始前から、沢山のうたごえの仲間の大合唱が夜空に響き、駆けつける仲間を出迎えました。オープニングは多摩川太鼓、ファンファーレはトランペット演奏で集会を盛り上げて頂きました。折りしもこの日、JAL に整備上の規定違反で業務改善勧告が出されました。JAL 本社の緊張感はピークに達したはずです。14 年目を迎える 2024 年は、安全、人権、働く権利を守るために、JAL が争議解決を決断する年です。

うたごえは闘いとともに

東京、神奈川・埼玉・千葉・福井から
かけつけ、集まる参加者を大合唱で迎
えて下さった「うたごえ」の皆さん

オープニング

五十嵐努さんによる
多摩川太鼓

ファンファーレ

松平晃さんによる
トランペット演奏

主催者を代表しての挨拶

かながわ連絡会　宮垣忠さん

国交省事件の証人尋問で、JAL の破綻、再建に国交省が深く関与したことが明らかになり、JAL の安全報告書で 165 名の整理解雇が必要なかったことも明らか。3 月末を待たずに、3 ヶ月前倒しで解雇を強行したのは、物言う組合員を追い出し、組合の弱体化を狙ったものです。ILO166 号勧告を無視し、整理解雇者を一人も職場に戻さないのは、不当労働行為であり、人権侵害そのもの。本日の本社大包囲行動を契機に、JAL 経営陣が争議の全面解決を決断することを求める。

闘争経過報告での決意表明

JHU 山﨑書記長

知床観光船、ビッグモーターの事件、ダイハツの事件、今日の JAL の業務改善勧告、命にかかわる問題が次々と明らかになっている。企業の安全管理にかかわる問題。経営は現場で働く労働者に責任を転嫁してはならない。

健全な企業活動のためには健全な労働組合が必要。労働者の権利を守り、労働者が生き生きと働ける社会をめざして闘って行く。

連帯のご挨拶、争議団からの報告・決意は次号で紹介致します。